

社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金)

令和3年1月13日

計画の名称	秋田市における良好な水環境ネットワークの形成(重点計画)(第2期)							重点配分対象の該当	○										
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			交付対象	秋田市														
計画の目標	<p>現在、本市が単独で処理を行っている処理場および浄化センターについては、順次、耐用年数を迎えるが、改築を行うよりも経済的であると判断した施設については、汚水処理機能を廃止し、隣接する流域関連公共下水道へ接続・機能統合することとし、より効率的で持続可能な下水道事業の実現を目指す。</p> <p>また、生活排水処理構想において、公共下水道で処理することが経済的であると判断した農業集落排水処理区について、それぞれ適正な手法で下水道接続し、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。</p>																		
計画の成果目標(定量的指標)	<p>①単独汚水処理場数を3箇所(R2当初)から1箇所(R6末)へ減少させる。</p> <p>②農業集落排水処理区を19箇所(R2当初)から11箇所(R6末)へ減少させる。</p>																		
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考												
				当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)													
①単独汚水処理場数(箇所)				3箇所	2箇所	1箇所													
②公共下水道へ接続する農業集落排水処理区数(箇所)				0箇所	5箇所	8箇所													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,368 百万円	A	1,368 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R2	R3	R4	R5	R6				
A07-001	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	ポンプ場	新設	八橋処理区流域統合	場内改造	秋田市						30		-	
A07-002	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	ポンプ場	新設	羽川中継ポンプ場建設	MP建設、圧送管布設φ100 L=500m	秋田市					40		-		
A07-003	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	農集処理区流域統合(豊岩地区ほか)	接続管渠布設(農集10処理区)	秋田市					1,228		-		
A07-004	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	秋田市					70		-		
合計											1,368								
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											R2	R3	R4	R5	R6				
合計											0								
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		
C 効果促進事業(該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											R2	R3	R4	R5	R6				
合計											0								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											R2	R3	R4	R5	R6				
合計											0								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考						

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	273	42	83		
計画別流用 増△減額	0	9	0		
交付額 (c=a+b)	273	51	83		
前年度からの繰越額 (d)	441	162	25		
支払済額 (e)	552	188	38		
翌年度繰越額 (f)	162	25	44		
うち未契約繰越額 (g)	18	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	25		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	2.5%	0.0%	23.2%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					